

消防ポンプ自動車（CD-I型）仕様書
（ 圧縮空気泡消火装置搭載型 ）

奈良県広域消防組合

消防ポンプ自動車(CD－I型)仕様書
(圧縮空気泡消火装置搭載型)

第1 総 則

この仕様書は、奈良県広域消防組合（以下、「発注者」という。）が、購入するCD－I型消防ポンプ自動車（以下、「本車両」という。）を製作するにあたり、必要な事項を定めるものとする。

第2 概 要

本車両は、消防専用ダブルキャブ付シャシに消防用資機材とA－2級消防ポンプ及び圧縮空気泡消火装置（以下、「CAFS装置」という。）を装備し、防火水槽、消火栓及び河川等の消防水利より給水し強力な放水をなし、一般火災に対し速やかに活動出来るものとする。

第3 艤装の条件

- 1 本車両は、この仕様書に定めるほか、次に掲げる法令、その他関係のある法令、通達に適合するもので、緊急自動車としての承認が得られたものであること。
 - (1) 道路運送車両法（昭和26年法律第185号）
 - (2) 道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）
 - (3) 動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）
 - (4) 消防法等の関係法令、通達
 - (5) 消防用車両の安全基準（平成19年3月日本消防検定協会）
- 2 本車両の製作は、この仕様書及び製作承認図等（契約後受注者にて製作すること。）に従うこと。

第4 提出書類等

- 1 受注者は、契約後、速やかに発注者と製作上の細部にわたる打ち合わせを行い、次の書類等を1部提出し製作開始及び進行の承認を受けること。
 - (1) シャシ関係
 - ア シャシ諸元明細
 - イ シャシ組立図
 - ウ シャシ重量分布表
 - エ ポンプ駆動用動力取出装置図
 - オ トラックカタログ
 - (2) 艤装関係
 - ア 艤装諸元明細
 - イ 全般艤装図（外面5面、ボックス内艤装図、キャブ内艤装図）

- ウ 車体組枠図（補強材料及び組枠寸法図）
- エ 消防ポンプ図
- オ ポンプ架装図及びポンプ関係配管図
- カ 動力伝達機構図
- キ ホースカー積載装置図（油圧系統図含む。）
- ク 電気配線図
- ケ 消防車カタログ

（３）積載資機材一覧表

（４）その他

- ア 製作工程表
- イ 受注者における自主点検体制が確認できる図書
- ウ その他、発注者が指示するもの

２ 受注者は、納車に際して、次に掲げる書類等を提出すること。なお、（１５）艀装工程写真及び各種検査時の写真のデータ提出は必須とし、その他の項目もデータ提出が可能なものは書類とともにデータの提出を行うこと。

- | | |
|------------------------------|-----|
| （１）自動車改造計算書 | ２部 |
| （２）車両重量実測表及び計量証明書 | ２部 |
| （３）転覆角度実測証明書（車輛安定傾斜角度測定表） | ２部 |
| （４）消防ポンプ性能試験成績表 | ２部 |
| （５）消防ポンプ自動車受託試験結果表 | ２部 |
| （６）各種取扱説明書 | ２部 |
| （７）シャシ取扱ハンドブック | ２部 |
| （８）分解整備に必要な資料（整備要領書、パーツリスト等） | ２部 |
| （９）自動車検査証 | １部 |
| （１０）自動車損害賠償責任保険証書（２５ヶ月）及び領収書 | １部 |
| （１１）自動車重量税領収書及びリサイクル券 | １部 |
| （１２）緊急自動車届出書 | １部 |
| （１３）保証書（積載品等含む） | １部 |
| （１４）受注者の自主点検結果書 | １部 |
| （１５）艀装工程写真（完成まで） | １部 |
| （１６）自動車保管場所登録証書 | １部 |
| （１７）その他、発注者が指示するもの | 必要数 |

第５ 検査等

- １ 仕様書及び承認図により、受注者は工程ごとに自主点検を行い、その結果を報告すること。

なお、次の検査は、発注者が立会い、実施するものとする。

(1) 中間検査

発注者が適当と認めるときに、受注者の製作工場において、営業及び技術設計担当者の立会いのもと実施すること。

- ア 艤装工程に基づく進行状況検査
- イ 仕様書、承認図及び協議決定事項検査
- ウ 組立板金工作の仕上がり状況検査
- エ 主要装備品、積載品の装着、架装状況及び確認検査
- オ その他、発注者が必要とする事項の検査

(2) 完成検査

車両納車時に次の検査を受けること。

- ア 車体構造及び性能検査
- イ 艤装検査時の指示事項に基づく検査
- ウ 装備品、積載品の装着、架装状況及び作動状況についての確認検査
- エ 発注者の指定色塗装及び指定文字等の配列についての確認検査
- オ その他、発注者が必要とする検査

- 2 検査は発注者の指示によって行うものとし、検査に必要な測定機器等は、受注者において準備すること。
- 3 各検査において不都合が生じた場合は双方で協議し、交換等必要な措置を講じること。
- 4 検査の際に要する一切の費用については、受注者側が負担すること。

第6 設計、製作上の注意

- 1 受注者は、契約にあたりこの仕様書を承認し、不明な点は発注者に質問し十分に熟知した上で契約するものとし、契約後において疑義が発生した場合は、原則として発注者の解釈に従うこと。
- 2 受注者は、諸般の理由により本仕様書及び承認図において変更を必要と認めたとき、あるいは不明な点が生じたときは、発注者と協議を行い、変更承認図を提出して承認を得ること。
- 3 受注者は、仕様書に記載のないものについても当然必要なものは、良心的に製作すること。
- 4 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他の権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
- 5 本仕様書の詳細について、契約後、発注者との打ち合わせにより決定し設計すること。製作途上も細部まで、連絡を密にすること。

第7 諸費用

- 1 検査、新規登録に関する手続き及び検査・登録の回送等に関する諸経費は受注者が負担する。
- 2 自動車損害賠償責任保険料（25 ケ月）、自動車重量税及びリサイクル料は、発注者が負担し、本入札金額には含まず、別途請求すること。
- 3 車両以外に積載品等、届出や申請が必要なものについては、受注者が全て負担すること。

第8 車両納車前提出書類

完成車納車までに、次の書類を各 1 部提出すること。

- 1 自動車検査証の写し。
- 2 自動車保管場所登録証書の写し。
- 3 その他、発注者が必要とするもの。

第9 納車前点検整備

- 1 納車時には、艤装、積載品、装備品及び車両本体の各部について十分な点検整備を行っておくこと。
- 2 納車時には、使用燃料等（軽油、ガソリン、オイル、エア等）は積載品、装備品を含めて全て満量とすること。

第10 納車等

- 1 履行期限
履行期限は、令和 10 年 2 月 28 日迄とする。
- 2 納車期限
納車期限は、令和 10 年 1 月 31 日とする。
- 3 納車場所 奈良県北葛城郡王寺町王寺 1 丁目 1 番 3 号
奈良県広域消防組合 西和消防署
奈良県吉野郡天川村中谷 125 番地の 1
奈良県広域消防組合 大淀消防署天川分署
- 4 納車台数 2 台（装備品、積載品を含む。）

第11 取扱講習（技術指導）

受注者は納車時に、シャシ及び主要装備品の講習を行い、また、納車後に発注者の指定する日程で安全操作技能講習を 3 回行うこと。

なお、上記講習に係る費用については受注者の負担とする。

第12 保証等

- 1 車両の保証期間は、艤装完成車納車の日から1年間とする。ただし、シャシ、取付装置及び積載品等のメーカーが公表する保証期間がそれ以上の場合は、その期間とする。
- 2 故障により、車両の使用が制限されたとき、その間については期間を換算しないものとする。
- 3 保証期間を問わず、設計材質不良に起因する不都合発生の場合は、受注者側の責任において早急かつ無償にて交換または修理を行い、不都合発生の理由書を提出すること。
- 4 故障・不良が生じた際の修理は、休日を含め速やかに対応すること。なお、現地修理を原則として、不可能な場合はその旨を発注者に説明し了解を得たうえで行うこと。

第13 仕 様

1 車両の主要な寸法等

- | | |
|------------|--------------|
| (1) 全 長 | 5,800mm程度 |
| (2) 全 幅 | 1,920mm程度 |
| (3) 全 高 | 3,000mm程度 |
| (4) ホイルベース | 2,800mm程度 |
| (5) 車両総重量 | 7,300 k g 程度 |

※ 最大車両総重量で車両登録を行うこと。

2 シャシ

令和8年以降に自動車メーカーがCD-I型用として公表した標準取付品が装備されているもので次のとおりとする。

(1) シャシ型式

シャシ型式は、消防検定に合格したものであるとともに、最新型消防専用シャシ3t級、4輪駆動車両とする。

ア 自動車NOx・PM法の排出基準に適合した車両。

イ 最終改正された騒音規制及び灯火器等の基準に適合している車両。

ウ シャシ選定にあたっては、発注者と調整を実施すること。

(2) エンジンの形式及び出力等

消防検定合格エンジンとし、次の諸元を満足すること。

ア エンジン型式 水冷ディーゼルエンジン

イ 総排気量 4,000 ccクラス以上

ウ 検定出力 150 馬力程度

(3) トランスミッション

オートマチックトランスミッションとする。

(4) シャシスプリング

重量用シャシスプリングを選定できるシャシにあつては、標準シャシスプリング

に替えて、重量用シャシスプリングを取り付けること。

(5) 電装品

ア 電気系統は、走行系と艀装系に分け、艀装系にはヒューズ等を用いた専用ボックスを設けるとともに、バッテリーメインスイッチを設け、艀装関係の電源も切れること。

イ バッテリー及びオルタネーターは、車載可能な最大容量のものとする。

ウ バッテリーは、点検及び交換が容易な構造とすること。

エ ヒューズボックスには、それぞれ名称、容量を記入すること。

3 キャブ

(1) キャブの構造

ア 鋼板製ダブルキャブとし、空気呼吸器をキャブ内に取り付けることができるようにキャブ後部を延長すること。

イ キャブは、十分な強度を有し、耐熱性、耐紫外線性に優れたダブルキャブ型とする。

ウ キャブ後部は張出式、キャブ上部はハイルーフ仕様とし、ハイルーフは軽量化の観点から FRP 製とする。

ハイルーフ部に赤色警光灯、標識灯、スピーカー、モーターを埋め込み、一体型にて形成すること。また、赤色警光灯を別体で設ける方式は不可とする。

エ ハイルーフ仕様にするにより、キャブ内座席上部を通常室内高より、約 200mm 程度高くし、小物入れ用の収納棚 (W1, 300mm×H210mm×D290mm 程度) を天井中央及び後部 (呼吸器用取付装置上部) の 2 箇所に設けること。天井中央部前方はステンレス製パンチングプレートとし、小物を設置することができるベルト (長さ調節可能なもの) を 2 箇所に設置すること。(詳細は別途協議)

なお、開閉扉等を設置し、走行中収納品が落下しない構造とすること。

オ フロントバンパーは、前面に張り出し、上面にはキャブ前面整備用足場として、アルミニウム縞板を貼ること。

(2) キャブ外部

ア 昇降用ステップは次によること。

(ア) 前部及び後部座席ドア下部に昇降用ステップを設けること。

(イ) 昇降用ステップは、十分な強度を有するものとし、幅及び奥行とも可能な限り広く、かつ、低い位置に取り付けること。なお、踏面は滑りにくい形状とすること。

(ウ) 各ステップの踏面を有効に照らす、ドアの開閉に連動したステップ灯 (LED) を取り付けること。

イ 前後ドア間のセンターピラー外側の適当な位置に、ステンレス製の昇降用握り棒を設けること。

ウ 乗降に際して、摩耗等のおそれのある部分には、アルミニウム保護板を貼ること。

- エ フロントガラス上部に、昇降用（整備用）握り棒を２個取り付けること。
- オ キャブ左側面後部に固定ネジ付旗立（ステンレス製）を設けること。
- カ 赤色点滅灯（LED）を、車両前部のセンターパネル又はフロントグリル内に左右均等に２個取り付けること。なお、設置方法によりボディより突出する場合は保護枠付きとする。また、作動は赤色警光灯と連動すること。
- キ 消防章をクロームメッキ仕上げ（黒塗り裏板付、外径 150mm）で、車両前部中央に取り付けること。

（３）キャブ内部

- ア 座席は前向きとし、前部２人、後部３人掛けとする。それぞれクッションスポンジ入りビニールレザーとし、全席防水タイプシートカバー張りとする。
なお、前席中央は撤去し、資機材収納ボックスを設置、その前方下部に車両運用端末装置モニターの台座を設置すること。（詳細は別途協議）
- イ 助手席は独立背もたれ型（レスキューシート）の空気呼吸器を内蔵できるもの（固定は幅広マジックテープ式）とし、背もたれカバーを取り付けること。
- ウ 後部座席下部に物入れを設けること。
- エ キャブ後部の延長部分には、空気呼吸器用の取付け装置（幅広マジックテープ式）を３基取り付けるとともに、後部座席の背当て部分を低くし空気呼吸器の着装に支障がない構造とすること。また、強固な面体用取付け金具を取り付けること。
なお、空気呼吸器設置下部の蓋板には、緩衝材を張り付けること。
- オ 各座席には２点式又は３点式のシートベルトを取り付けること。ただし、前部及び後部座席のドア側４座席のシートベルトは、巻取式とすること。
- カ ルームミラー型バックアイカラーモニター（大型）を取り付けること。
なお、作動はバックギア連動及び作動スイッチによる任意作動とする。
- キ ドライブレコーダーを運転の支障にならない位置に取り付けること。
なお、シガライターからの電源供給は不可とする。
- ク 後部座席の天井部に室内灯（LED、ドア連動スイッチ付、単独スイッチ）を運転席に光が漏れないよう設けること。
なお、車両標準装備された室内灯についても LED バルブに交換すること。
- ケ 前席と後席の間にステンレス製で強固な手摺棒を設け、地図等を収納するボックス（A3 サイズ以上）を中央前席側に設けること。
また、手摺棒に可動式 S 字型吊金具（10 個）を設けること。
- コ 助手席ドア上部付近にフレキシブル型照明灯（LED）を室内用取手に支障のないように取り付けること。また、スイッチはその付近とすること。
- サ キャブ内、各種電装設備設置用のスペースを運転席及び助手席上方に設けること。
- シ キャブ内にインバーター装置を設け、100V 電源が使用できること。
AC100V 電源のコンセントは２口以上を設置するものとする。（詳細は別途協議）な

お、合計電力は 600W 以上を確保すること。

ス 携帯拡声器ブラケットを 2 か所設け、ベルトで固定できるようにすること。設置場所については別途協議すること。

(4) 内張り

キャブ内天井部の内張りは、シャシ標準仕様とし、内部に断熱材を設け、可能な限り高い位置に張るとともに、天井内の配線の点検等を容易に行える構造とすること。

(5) 電装品・計器類の取付け

ア キャブ内に電子サイレンアンプ、大阪サイレン社製 10 連スイッチボックス（艀装メイン、標識灯、路肩灯、各部作業灯、計器灯等。詳細は別途協議）を取り付けること。

イ モーターサイレン用スイッチ（手動）を、助手席から操作しやすい位置に設置すること。

ウ キャブ内にホースカー及びはしご昇降装置未収納警告灯、資機材収納庫及び各部シャッター未閉鎖警告灯、天井アルミボックス未収納警告灯を設けること。

(6) 音声合成装置

ア 方向指示器（右左折広報）及びバックギア（後退広報）連動式、並びに一般車両避譲用の音声合成装置を設けるとともに、非連動も可能とすること。（別途指示）

イ 電子サイレンアンプに内蔵された緊急走行用音声案内装置のスイッチを、助手席から操作しやすい位置に増設すること。（広報内容の名盤貼付）

(7) ディスチャージ式ヘッドランプ及びリモコン式サイドミラーを取り付けること。

また、フロントバンパー内にフォグランプを 2 個内蔵し取り付けること。

(8) キャブチルト装置

ア 昇降は、電動油圧式とすること。

イ 油圧シリンダーには、キャブの急落下を防止する安全装置を設けること。

ウ キャブチルト時にキャブを固定する支持棒を取り付けるとともに、支持棒及び支持棒受台には、黄色塗色すること。ただし、キャブと支持棒が一体式のものは除く。

(9) 車輪止め収納庫

キャビン後席昇降ステップ付近に、積載ブラケット及び車輪止め 2 個を取り付け、走行中に落下しない措置を講ずること。

(10) タイヤ等

タイヤはホイール付オールシーズン用ラジアルタイヤとし、ホイール付スペアタイヤ 1 本を備えるものとする。なお、天川分署分については、ホイール付スタッドレスタイヤ 6 本を付属すること。

4 消防ポンプ装置

消防ポンプ及び真空ポンプは、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和 61 年自治省令第 24 号）の規格に適合するとともに、次に掲げる内容を満足するものであるこ

と。

(1) 消防ポンプ動力取出伝達装置

ア PT0 から消防ポンプ動力を取り出すこととし、専用プロペラシャフトで消防ポンプへ動力を伝達する方式とすること。

イ PT0 の操作は、キャビン内運転席及び真空形成装置操作部に設けられたスイッチにより行うものとする。

(2) 消防ポンプ（日本消防検定協会による受託評価の品質評価合格品）

ア 構造

水ポンプは、軽量・小型なインデューサー付 1 段ボリユートポンプ、又はバランスタービンポンプとする。

イ 性能

A－2 級以上であること。

(3) 真空形成装置

ア 構造

真空形成装置は、CAFS 装置のコンプレッサーを利用した真空状態を形成する方式、又は無給油真空ポンプ方式とする。

CAFS 装置のコンプレッサーから吐出される空気を利用した真空状態を形成する方式の場合は、非常時に空気ボンベ等を使用し、真空形成ができること。

イ 性能

呼称 75mm、10m の吸水管を使用して試験を行ったとき、次の条件を満足する性能を有すること。

(ア) 真空度が大気圧の 84% に達するのに要する時間が 30 秒以内であること。

(イ) 真空漏れが 1,330 Pa (10mmHg) / 30 秒未満であること。

ウ 作動装置

操作は左右連動式の押しボタン操作によるものとし、駆動装置は円滑に作動し、揚水完了後は自動的に停止すること。

なお、非常用の別系統スイッチを車両両側又は片側に設けるものとする。

(4) 呼水装置

左右吸水口付近に吸水確認用ボールカップ付バイパス回路を取り付けること。

(5) 冷却装置

PT0 又は PT0 オイルクーラー及び補助ラジエターは、消防ポンプから冷却水循環のための専用パイプを配管するものとし、ポンプ室側板下方にバルブ及びボールカップ付ストレーナー（予備回路）を設けること。

また、水槽水を有効活用するため、冷却水を還流する装置を設け、スイッチを片方のポンプ室側板に設置すること。

(6) 圧縮空気泡消火装置（CAFS 装置）

ア 構造

水ポンプ装置から送られてきた水を利用して、混合器で作られた混合液にコンプレッサーを用いて圧縮空気を送り込み、配管内部で泡状にして発砲できる装置で、少量の水で効率の良い泡消火ができるものとする。また、気水比が5倍～10倍の消火・火炎鎮圧用湿式泡（ウェット泡）と気水比が16倍～20倍までの延焼防止・残火処理用乾燥泡（ドライ泡）の2種類の泡について、泡管鎗を用いることなく吐出可能なものとする。なお、ウェット泡とドライ泡の切り替えは泡放射中であっても可能であること。

また、公表性能の保障、品質確保を証明する為に、第三者機関である（財）日本消防設備安全センターによる評定試験に合格した装置とする。

イ 性能

最大水量 600 L/min 以上、最大空気吐出量 3,200 L/min とし、最大泡吐出量 3,800 L/min 以上の性能を有すること。

ウ 安全機能

（ア）CAFS 装置作動の適性回転数から規定回転数以上に上がらない過回転防止装置を設けること。

（イ）コンプレッサーの油温が過熱すると警報を発すること。

（ウ）何らかの原因により泡原液の供給ができなくなった場合、自動的に水放射に切り替わる構造とすること。

エ 操作方法

（ア）CAFS 装置の操作は、左右ポンプ操作盤液晶ディスプレイで操作可能とし、パネルスイッチ式にて操作が出来るようにすること。

（イ）湿式泡と乾燥泡の切替・気水比調整と泡原液濃度調整は、左右ポンプ操作盤液晶ディスプレイにてワンタッチで行え、操作は放水中でも可能なこと。

（ウ）泡圧力は 0.3MPa ～1.0MPa までポンプスロットルダイヤルにより任意に調整できるものとする。

オ コンプレッサー

（ア）オイル循環式のロータリースクリュー型コンプレッサーとし、コンプレッサーの潤滑油は補助冷却器により冷却する構造とする。なお、補助冷却器は圧力水の一部の水により冷却されるものとする。

（イ）コンプレッサーはスペースを有効活用した最少システムで構成すること。

（ウ）コンプレッサーの油温上昇を警告するブザー等を設けること。

（エ）コンプレッサーの冷却に使用した水は、水槽へ還流又は放水へ廻るものとする。

また、切り替えにより車外にも排出できる構造とすること。

カ 混合装置

圧縮空気流量を感知し、自動的に泡原液量を調整して混合比設定する電子式比例

混合式とする。混合比は液晶ディスプレイ、又は CAFS 用操作盤にて変更可能なものにする。なお、混合比の変更は放水中でも可能な構造とすること。また、原液濃度の設定は、0.3～1.0%に設定が可能な構造とし、左右ポンプ操作盤液晶ディスプレイ、又は CAFS 用操作盤で設定ができること。

キ 泡原液（クラスA泡消火薬剤）は、淡水及び海水でも使用できるものとする。

また、クラスA原液であっても、放射後は速やかに消泡できる原液とし、品質保証の観点から日本消防検定協会の型式を取得し、かつ型式適合検定に合格した物とする。

泡原液は、車両の適当な箇所に交換容易なポリタンク式容器（20L）又は専用タンクを設け、消火活動中に容易に吸引及び補充が行えること。

なお、原液のつまりを防ぐため、配管内にストレーナーを設けること。

ク 泡吐出口は、消火効率を高めるため2線で使用可能なものとする。

ケ CAFS 装置の混合器で作られた混合液は、左右の水泡兼用吐出口より吐出可能な構造とする。

（7）水槽

ア 車体中央部付近に設置し、軽量化及び腐食防止の観点から、材質はFRP製又は樹脂製の容量600L以上の角型水槽とする。なお、天川分署分の容量について、800L以上とする。

イ 水槽左右には積水口を設けること。（ボールコック付）

ウ 水量計を左右のポンプ・CAFS 用操作盤近くに設け、ポンプ操作盤液晶ディスプレイでポンプ運転中に容易に残水量を確認できること。

エ 車両側面から容易に水道水を接続してタンク水を補給できること。

オ タンク吸水口については、電動コックを使用し、ポンプ操作盤液晶ディスプレイ内で操作可能とする。

なお、非常時は手動によりコック操作が可能な構造とすること。

カ 現場活動において一秒でも早く放水が開始できるよう、タンク吸水コックの開放に連動し、自動的に一定時間真空装置が作動する構造とすること。

キ 水槽上部にマンホールを設け、メンテナンスが容易に行えること。

（8）安全機能付ポンプ操作装置

ポンプ操作装置は車体左右に設け、操作員が容易、かつ安全にポンプ操作が行えるよう、次の機能を有すること。

ア 圧力計・連成計（リタード式）は透過光照明灯付とし、振動等でも針振れがない構造とする。

イ ポンプスロットルは電子式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回転することによってエンジン回転速度を調整できるものとする。

ウ ポンプスロットルは、誤作動を防止するための安全ロック機能を設けること。

エ 真空形成装置の ON/OFF を車体左右のポンプ操作装置上の押しボタンにより行えること。

オ 多目的表示液晶ディスプレイは、車体左右ポンプ室付近の操作しやすい適当な位置に配置し、詳細は以下のとおりとすること。

(ア) 視認性を考慮してディスプレイは 5.0 インチ以上のワイド液晶画面とする。また、昼夜を問わず画面を確認しやすいよう調光機能付きとし、高コントラスト比の低反射型硬質パネルとする。

(イ) モニター表示

警告モニターとして、冷却水及び真空形成装置作動タイムに対する警告表示ができ、なおかつ警報ブザーが鳴るようにすること。

また、各ボールコックの開閉状況、揚水・放水の状況確認のできるモニター表示、ポンプ回転計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計を各々デジタル数値によりモニター表示できること。

(ウ) 流水・積算表示

流水・積算量はデジタル数値により表示できること。

(エ) CAFS 装置使用時には、泡流量並びに水流量を表示できること。

カ ディスプレイ内の各表示切換はパネルスイッチ式により行えるものとする。

キ ポンプ操作装置には隊員の安全を確保するため、次の安全機能を設けること。

(ア) スロットルの固定機能：不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。ただし、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作出来るものとする。

(イ) 自動調圧機能：機関員の負担を軽減するため、自動調圧装置を設けるものとし手動にて任意の圧力に上昇させた時点で設定する任意圧力安定方法と、パネルスイッチにて、任意の設定圧力をワンタッチにより選択し圧力を上昇／安定させる圧力設定開始方法が併用できる構造とすること。自動調圧機能の解除については、スロットル操作を行った場合自動的に解除される構造とするとともに、ワンタッチにて解除も可能な構造とすること。また、CAFS 装置使用時には、作動と共に適正回転まで自動的にスロットル調整を行うこと。

(ウ) 高圧中継警報：自動調圧中に中継圧が高く、エンジン回転数をアイドリングまで下げても設定圧まで下げられない時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に高圧中継警告が表示されること。

(エ) 低圧中継警報：中継水量が不足している時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に低圧中継警告が表示されること。

(オ) スロットルインターロック：PTO がつながっていない場合は、全てのスロットルダイヤルを操作してもエンジン回転操作が出来ない構造とする。

(カ) 緊急減圧機能：左右操作盤にボタン式の緊急減圧スイッチを設け、ボタン作動時

は即座にエンジン回転を安全回転／アイドリングまで下げ、水吐出圧力を減圧する構造とすること。

(9) 吸水口

ア 吸水口

(ア) ポンプ室左右側板に各 1 個取付けること。

(イ) 配管は 75mm とし、コックは 75mm ボールコック（テフロン張りパッキン使用）とすること。なお、開閉レバーは、車両前方向へ「開」、車両後方向へ「閉」とすること。

(ウ) 左ポンプ室吸水管結合部は、一体型エルボを取り付けること。

(エ) 常設吸水管は車両左側 1 箇所とし、手動回転式リールにより収納できること。
なお、回転式リールはロック機能を有すること。

また、先端に消火栓接続用媒介金具（75mm ネジ式×65mm 差込み式）を取り付け、差込みちりよけ籠を取り付けられるものとする。

(オ) 右側吸水口の接続金具は、分割式吸水管を接続できるようにすること。

イ 中継口

(ア) ポンプ室左右に各 1 個取付けること。

(イ) 配管は 65mm とし、コックは 65mm ボールコック（テフロン張りパッキン使用）とすること。なお、開閉レバーは、車両前方向へ「開」、車両後方向へ「閉」とすること。

(ウ) 中継用媒介金具結合部は、65mm ネジ式×差込み式とすること。

(10) 放水口

ア ポンプ室両側板に各 2 個取り付けること。

イ 配管は 65mm とし、コックは 65mm ボールコック（テフロン張りパッキン使用）とすること。なお、開閉レバーは、車両前方向へ「開」、車両後方向へ「閉」とすること。

ウ 放水口媒介金具結合部は、左右全てをスワイベル機能付き差込み式とすること。車両前方の左右各 1 個の放水口は 65mm 及び 50mm の消防用ホースが、媒介金具なしで接続できるマルチタイプとし、車両後方の左右各 1 個の放水口は 65mm とする。
（媒介金具 50mm 付）

(11) ポンプ側板

ポンプ室側板は、密閉構造とし、吸・放水コック等の補修に必要な箇所は、取り外しができる構造とすること。

(12) ポンプ室前部

ポンプ室前部のキャブ側は、ポンプ室が点検整備できる構造とすること。

(13) 不凍液注入装置

ポンプ凍結防止のため、不凍液注入装置を右側面の適当な位置に取り付けること。

- (14) 左右ポンプ室前方のタンク側面上部に、収納式又は脱着式ステンレス棒を設置し、Sフックをそれぞれ5個設置すること。また、同側面は小型資機材を吊り下げ固定できる壁体構造とすること。

5 ボディ

(1) 組枠

ボディ組枠は、十分な強度を有するものとし、シャシに強固に取り付けること。重要部分のボルトには、ダブルナットを使用すること。また、ボディはできるだけ軽量化を図り製作すること。

(2) 形状

ア ボディの形状は、箱型を基本とし、左右側面各2枚のバー式アルミシャッター（西和消防署分については、後部シャッターも設けること）及びステップ兼用収納庫扉を設け、資機材収納庫をできるだけ広く設けるものとする。

なお、収納庫の扉はチェーンレスの展開式ステップとして使用できる強固な構造とし、ステップ部はアルミ縞板張りとする。

イ ボディ左右後部収納庫の開閉は、原則としてシャッター及びステップ兼用扉の併用方式とする。

ウ ボディ上部左右側面にあおりを設け、あおり部中央にLED作業灯を左右各1個、前方及び後方に赤色点滅灯（LED）を左右各2個取り付けること。

なお、赤色警光灯と連動すること。

エ リアオーバーハングはホイールベースの2/3以下、地上高400mm以上とし、地面との接触をさけるために後端を斜めに切り上げる形状とする。

オ 全高は、出来るだけ低く設計すること。

カ 車体前面下部に牽引用フック（外れ止付）を取り付けること。

(3) ポンプ室、資機材収納庫等

ア ポンプ室上部に上開き固定式扉を取り付け、ポンプ室上部収納庫底板は、ポンプ点検口として容易に使用できるように取り外しが可能な構造とすること。

イ 各シャッターには引き降ろしベルトを取り付けること。

ウ ポンプ室シャッター内左右に無線送受話器及び外部スピーカーを設置すること。

また、無線送受話器は、シャッター開放と連動させること。なお、各配線は活動に支障のないように処理すること。

エ ボディ天井部は全面アルミ縞板張りとする。

オ ポンプ室下部（後輪タイヤ前）のボディ左右側面に資機材収納庫を設けること。（別途協議）

カ ポンプ室及び資機材収納庫内に、夜間の活動に備え、資機材の積み下ろしに支障のない方法でバー型照明灯（LED）を必要数取り付け、扉及びシャッターの開閉により点灯する方法とすること。なお、キャビン内にメインスイッチを設けること。

キ ボディ左右及び後面のシャッター内部は、スペースを有効利用し積載品を整然と配置し固定、搭載できる構造とする。(詳細は別途協議)

ク ボディ左側面後方の収納庫を吸水管収納スペースとし、西和消防署分にあつては手動式吸水管巻取りリールを設置し、後方へ引き出し可能な構造とし、天川分署分にあつては、手動で取り出し可能な構造とすること。

また、吸水管収納スペース以外のスペースを有効活用し、各資機材を収納できる構造とすること。(詳細は別途協議)

ケ ボディ右側面後方の収納庫は資機材収納スペースとし、長尺資機材収納部及び可変式3段棚を設けるとともに、それぞれ必要な位置に積載品に合わせ収納ボックス又は固定バンドを設置すること。なお、天川分署分にあつては、ボディ左側面後方の収納庫最下部に可搬式ポンプ(C-1級)を収納できるスペースを設け、可搬式ポンプを積載すること。

コ ボディ後部にはホースカーを収納し、内部側面資機材収納部は、ホースカーを離脱することなく、各積載品の取出し及び収納が可能なように収納性を考慮すること。

なお、ホースカーの積載は油圧式昇降装置によるものとし、付近の操作しやすい位置に昇降スイッチ等を設けること。

サ ホースカー収納部奥には、上段に空気呼吸器予備ボンベ積載部及びその上部に展開扉式収納部、また下部には2段式収納棚を設置し、各資機材はバンド等で固定できるようにすること。(詳細は別途協議)

シ 空気呼吸器用予備ボンベ収納庫は、ワンタッチで脱着容易なベルクロ式を取付け、横積み差込式ラックを5本分(うち1個は消火器積載用に流用)設けること。

なお、いかなるボンベサイズにも対応出来る飛び出し防止及び落下防止構造とすること。(詳細は別途協議)

ス 左右タイヤハウス側板を、左右側面収納庫扉同様、チェーンレスの全面展開式ステップ(ダンパー式)とすること。

セ 資機材収納庫等は、水等の侵入が無いような構造とし、必要に応じて水抜き穴、ドレンホース及びすのこ板等を設けること。

ソ 資機材収納庫等の開閉は、片手操作ができる方法とし、各扉には扉解放防止用金具2個を別に取り付けるとともに、展開時の接触防止用反射板をマチの3面に取り付けること。

タ 各扉及びシャッターの開閉状況が、キャブ内設置の警告ランプの表示で確認できるとともに、各扉等の開いた状態での走行を防止するため、サイドブレーキ解除時に警告音が鳴動する構造とすること。

(4) 昇降ステップ及び積載品取付け装置等

ア ボディ前方右側及び後方に天井部への昇降用等のため、ステンレス製の手摺を必要数取り付けると。(詳細は別途協議)

イ ボディ天井への昇降用に右前方側板には展開式ステップを必要数、また後部右側には収納式アルミ梯子を取り付けること。

ウ 天井昇降用各ステップ及び梯子から安全に天井へ移動するための手摺り等を適当な位置に必要な数取り付けること。なお、後面収納式アルミ梯子の上部はLED付手摺りとする。

エ ポンプ室シャッター内及びボディ左右側面シャッター内に、各資機材の取付け金具等を設けること。なお、取付け位置については、バルブ操作等に支障のない位置とすること。（取付資機材、位置は別途協議）

(5) その他

ア ボディ各部の組み立ては、可能な限り脱着が容易な方法とする。

イ ステップ等で昇降に用いるものは、ボディ側接触部にアルミニウム板を貼付け、昇降に伴うつま先等によるボディの汚損、損傷を防止すること。

ウ 走行中に落下する恐れのある車両搭載品等については、落下防止措置を二重に講ずること。

エ 後壁部にLEDのブレーキランプ、ウインカーランプ及びバックランプを体裁良く取り付けること。

オ 後壁部上部左右に赤色点滅灯（LED）及び作業灯を車体に埋め込む方法で取り付けること。なお、赤色点滅灯は、赤色警光灯と連動すること。

また、後壁部の操作しやすい位置にスイッチ（保護枠付き）を設けるとともに、キャビン内にもメインスイッチを設置すること。

カ 100V電源が使用できるコンセント（2口）を、側面及び後壁左側に設けること。なお、合計電力は600W以上を確保すること。

キ 後壁部上部中央にキャビン内バックアイカラーモニター用カメラを取り付けること。

6 天井部の積載装置等

(1) 左側上部に二連梯子を収納、固定できるスライド式昇降装置（バランスダンパー式）を設置すること。なお、昇降装置には、とび口が積載・固定できる構造とし、昇降操作は地上から隊員1名で容易に操作できるものであること。

(2) 分割式吸水管

ア 中央部に、分割式吸水管収納枠を設け、75mm×2.5mの吸水管4本を縦積みで積載、固定すること。なお、4本を連結することで、10mの1本の吸水管として使用できるものとする。

イ 吸水管を連結した際、水利側先端となる接続部には消火栓接続用75mmネジメス×65mm差込み媒介金具を設けること。

また、車両右側に常設されている吸水管と容易に連結できるようにするため、先端金具に別途媒介金具を設ける等の必要な処置を講じること。

(3) 大型資機材収納箱

- ア 右側上部にアルミ縞板製大型資機材収納箱（約 1,500×750×450mm、大きさは別途協議）を設け、内部には緩衝材を敷くこと。
- イ 扉部分は周囲から雨水等が侵入しないよう防水措置を講じ、扉には開閉用の取手及び安全のため扉閉鎖防止チェーンを内側に2箇所取り付けすること。
- ウ 収納箱の短辺側両側板にグリップを設けること。
- エ 収納箱には、開閉確認用のセンサーを設け、キャブ内で開閉の確認ができる確認灯等を設けること。

(4) 上記収納箱付近のスペースに、資機材等を固定積載するための固定フックを必要数設置すること。

(5) 天井右前部に地上から操作可能な手動伸縮固定式投光器を設け、スイッチを投光器付近の地上から操作できる位置及びキャブ内にメインスイッチを取り付けること。（位置は別途協議）

7 ホース延長用資機材

(1) ホースカー

- ア 手動ホースカー（西和消防署分）及び電動ホースカー（天川分署分）とする。
- イ ホースカーは、後部収納庫内へコンパクトに収納できるよう車輪及びハンドルに折り畳み機能を有し、軽量頑丈な箱絡車とすること。
- ウ ホースカー上部には、他の資機材を積載し落下せず走行できるように枠を設けること。また、積載した資機材を固定できるベルト又はネットを必要数設置すること。
- エ ホースカーに取付け装置を必要とする装備は次のとおりとすること。（別途協議）
 - (ア) フリップチップ・プラスノズル 1本
 - (イ) クアドラフォグノズル 1本
 - (ウ) 分岐管 1個
 - (エ) 媒介金具収納装置（65mm用・50mm用）計2個
- オ ホースカーに取り付けるノズル及び分岐管等は、ホースカーが車両収納状態でも容易に取り出せる構造とすること。
- カ ホースカーは夜間でも遠くから容易に視認できるように反射板等を取り付けること。

(2) ホースカー昇降装置

- ア 格納式とし、油圧にて作動するものとする。
- イ 車体後部シャッター付近に操作部を設け、メインスイッチ、上昇及び下降用スイッチを設けること。
- ウ 非常時には、手動にて操作可能な構造とすること。
- エ 未収納確認灯を操作部及びキャビン内に設けること。
- オ ホースカー昇降時、ホースカー本体及び取付資機材が他の部分に干渉しない構造

とすること。

カ 夜間での作業を考慮し、照明を取り付けること。

8 空気呼吸器

空気呼吸器はキャビン内に4式積載し、下記の仕様とする。

- (1) 型 式 エア・ウォーター防災製
 ライフゼム A 1-12 (警報器作動開始圧力 5 MPa)
 A 1-12 用 ACT-BCON 付属
- (2) 面 体 CX 面体 (面体収納袋付)
- (3) 拡声装置 ESP-SD4-DCX
- (4) 専用充電器 CH-SD4 4 器
- (5) その他付属品 アイピースカバー (5 枚 1 組) 2 組

9 記入文字

記入文字は、反射式白色カッティングシートを使用し、丸ゴシック体で大きさは別に定めるものを除きそれぞれ 8 c m 角とし、位置については以下のとおりとする。

- (1) キャブ両側後部ドアに「奈良県広域消防組合」と記入すること。
- (2) キャブハイルーフ部両側の標識灯に「〇〇」(記入例：西和)と記入する。
- (3) キャブ両側前部ドア下部、車両前部助手席側・車両後部右側の 4 箇所に漢字表記と数字表記を 2 段にて記入する。(記入例：西和 201)
- (4) キャブ天井部に対空表示として漢字表記と数字表記を記入する。なお、文字の大きさは、スペースに合わせ、バランス良く記入できる最大の大きさとする。(記入例：西和 201)
- (5) ホースカーに漢字表記と数字表記をと記入する。記入位置及び大きさは、別途指示する。(記入例：西和 201)

10 塗装及びその他艤装

- (1) 艤装に伴う電気系統は、艤装部専用のメインスイッチを 10 連スイッチボックス内に設けること。また、艤装メインスイッチはメモリー機能を有しエンジン停止後、再始動した場合にもオン状態となること。
- (2) 燃料タンクは、上部を縞板で覆うとともに、注入口キャップ付近に使用燃料及び容量を白書きすること。なお、給油口の蓋は施錠のできるものとする。
- (3) 左右後輪付近に路肩灯 (LED) を取り付けること。
- (4) 前後左右フェンダー後部にタイヤ泥除けを取り付けること。
- (5) 塗装下地は、完全な錆び落としの上、十分な防錆塗装を行うとともに、凍結防止剤等による腐食対策を行うこと。
- (6) 車両は充分錆落としの上、プライマー、パテ、サフェーサにより下地処理を行い、充分乾燥させ朱色塗装により 3 回以上の塗装を行う。塗料は VOC (揮発性有機溶剤) 削減、環境負荷物質 (鉛など) を一切含んでいない環境を考慮したハイソリッドウレタン塗料

を使用すること。

- (7) ドア枠内側及びドアまち部分は車体同色塗装とする。なお、キャブ内は車体標準塗色とする。
- (8) アルミシャッター部は、車体と同色塗装とすること。また、反射性に優れたステッカー等を使用し、任意のイラスト等を貼り付けること。(詳細は別途指示する。)
- (9) アルミ縞板使用部は、無塗装とすること。また、アルミ製以外の縞板使用部は、亜鉛メタリコン吹加工とすること。
- (10) ポンプ室、吸管収納室及び資機材収納室は、アンダーコーティングしたうえ、シルバーメタリック塗装を施すこと。
- (11) 車体下回りは、黒色防錆塗装を施すこと。
- (12) ステンレス以外の手摺り等にあつては、クロームメッキ処理とすること。
- (13) 組枠及び板金の先端は、点検整備の際に危害を及ぼさないように加工すること。
- (14) 各スイッチ、コック及びレバー等には、名称及び開閉方向等の銘板を取り付けること。
- (15) キャブ内に使用する内装材は難燃材とすること。
- (16) 各資機材の固定用金具類は、特に指定のない場合、金属製のものを使用すること。

第 14 車載無線装置及び車両運用端末装置

1 車載無線装置

- (1) 車載無線装置は、既存車両から取り外し、新規車両に設置するものとする。
- (2) 車内スピーカー (P810 型) 1 個及びハンドセット 1 個は、新規車両の運転室に設置するものとし、受注者が別途調達し新規に設置すること。
- (3) 当該機器の移設工事は、以下のとおりとする。なお、以下の配線工事は、発注者が消防救急デジタル無線システム保守点検業務及び消防指令システム保守点検業務契約を締結している NEC ネットスエスアイ株式会社 (以下「NEC」という。) が施工するものとする。ただし、艤装に係る部分の内部等に配線工事が必要な場合は、受注者と NEC が十分協議のうえ、いずれかが施工するものとする。

また、デジタル用 2 基及びアナログ用 1 基のアンテナは新規設置とする。その際、デジタル用アンテナは 1 / 2 λ エレメントを使用すること。アナログ用アンテナは 1 / 4 λ エレメントで可とする。

ア アンテナ同軸ケーブル

無線機本体から空中線共用器、及び空中線共用器からアンテナまでとする。

イ マイクケーブル

ハンドセットの設置数により対応するケーブルの増設すること。

ウ 車内から無線機本体までのケーブル (必要に応じて分配器)

エ +B 電源、GND ケーブル

車載無線装置本体から車両バッテリーまでとする。

端子台を設ける場合は車両バッテリーから直接端子台まで配線すること。

オ ACC 電源

車載無線装置本体から端子台までとする。

カ デジタル用空中線共用器

キ その他必要な配線

(4) 移設工事に際し、既存車両から取り外し困難な部品、又は取替えに必要な材料、消耗品及び保護材については別途調達し、その費用についても受注者が負担すること。なお、空中線共用器については、流用可とする。

(5) 当該機器の取付け時期及び施工方法は、3者（発注者、受注者、NEC）にて十分協議し施工すること。

2 車両運用端末装置

(1) 車両運用端末装置は、既存車両から取り外し、新規車両に設置するものとする。

(2) 車外設定器は、既存車両に設置されている2個を新規車両へ移設するものとする。

(3) 当該機器の移設工事は、NECが施工するものとする。

(4) 以下の配線工事は、上記(2)同様、NECが施工するものとする。

ただし、艀装に係る部分の内部等に配線工事が必要な場合は、受注者とNECが十分協議のうえ、いずれかが施工するものとする。

ア ACC 電源、IGN 電源、リバーズ、車速パルス

車両運用端末装置本体から端子台までとする。

イ +B 電源、GND ケーブル

車両運用端末装置本体から車両バッテリーまでとする。

端子台を設ける場合は車両バッテリーから直接端子台までとする。

ウ GPS アンテナケーブル

エ 車外設定器用ケーブル

車外設定器の設置数により対応するケーブルの増設すること。

オ その他必要な配線

(5) 移設工事に際し、既存車両から取り外し困難な部品、又は取替えに必要な材料、消耗品及び保護材については別途調達し、その費用についても受注者が負担すること。

(6) 当該機器の取付け時期及び施工方法等は、3者（発注者、受注者、NEC）にて十分協議し施工すること。

(7) 各機器の詳細な取付け位置等は、発注者が別途指示するものとする。

第15 その他

1 各種資機材等

各資機材や付属品等については、別表のとおりとし、特に指定がない限り、別途協議の上、取り付けること。

2 業務の完了

納車時に実施する完成検査に合格した後、無線機移設業務等の完了及び適切な書類の提出があったことをもって、業務完了とする。

3 支払条件

業務完了後、受注者から適法な支払請求を受けた日から 30 日以内に、受注者が指定する口座へ振込むこととする。

別表

品名		型式・仕様	数量	備考
シャシ				
	シャシ	3t級消防専用ダブルキャブシャシ 4WD（改造費含む）	1式	AT車
シャシ装備品				
	キャブチルト装置	電動油圧装置	1式	
	オイルパンヒーター	車両純正品	1式	
	オートエアコン	車両純正品	1式	
	外部動力取出装置（PTO）		1式	
	エンジン回転計	車両純正品	1	
	エンジン油温計		1	
	エンジンアワーメーター		1	
	パワーウインドウ	車両純正品	1式	
	バックアラーム	音声合成式	1式	
	バックランプ		1式	
	フォグランプ	車両純正品	1式	
	エンジンルームランプ	車両純正品	1式	
	車両サイドウinker	車両純正品	1式	
	A B S 装置	車両純正品	1式	
	ブレーキアシスト装置	車両純正品	1式	
	E S スタート	車両純正品	1式	
	前進誤発進抑制機能	車両純正品	1式	
	電動格納ドアミラー	車両純正品	1式	
	助手席補助ミラー	車両純正品	1式	
	サイドバイザー	ステンレス製、キャブ各ドア上部	1式	
	サンバイザー	運転席及び助手席	1式	
	集中ドアロック	車両純正品	1式	
	ナンバープレート	希望ナンバー	1式	
シャシ付属品				
	泥除けゴム	全輪	1式	
	フロアマット		1式	
	ナンバーフレーム	ステンレス製、前後一式	2	
	オイルジャッキ	車両純正品	1式	
	標準工具	車両純正品	1式	
	非常用信号用具		1式	
	三角停止板		1式	
	スペアタイヤ	ホイール付	1	
	タイヤチェーン	シングル用バンド付	1式	
	スタッドレスタイヤ	ホイール付	6	天川分署分のみ
キャブ				
	ハイルーフ艤装		1式	
	標識灯	「〇〇」と記入、左右 青パネル	2	
	前部バンパー張出し艤装	上面アルミ縞板加工	1式	
	側面照明灯	MYSW（LED）又は同等品	2	
	キャブ後部張り出し艤装		1式	
	レスキューシート	空気呼吸器内臓型 マジックバンド固定	1式	
	空気呼吸器取付け装置	マジックバンド固定	3	
	面体吊り下げ用フック	キャブ内後面	3	
	防水座席シート	全座席、防水・防汚シート（シート色：黒青）	1式	
	乗降用手摺	左右センタービラー	2	
	コンソールボックス		1式	
	手摺棒	ステンレス製（直径40mm）	1	
	図書類収納ボックス	A3サイズ以上現状合わせ	1	
	携帯無線機等収納ボックス	図書類収納ボックスと同幅	1	
	携行ライト収納ボックス		1	

	可動式フック		10	
	携帯拡声器取付けステー	天井及び前席中央脚元	2	
	万能斧取付けステー	後部座席脚元	1	
	天井収納棚	W1300mm×H210mm×D290mm 脱落防止ネット等付	2式	
	後部座席下収納ボックス		1式	
	旗立てパイプ	ステンレス製、キャブ左側リアビラー	1	
	バッテリー引出装置		1式	
	消防マーク	台座付	1	
	アルミ製保護板張り付け	乗降時に塗装面の損傷が予想される部分	1式	
	その他キャブ艤装		1式	
ポンプ				
	水ポンプ			
	インデューサー付 一段ポリュートポンプ	A-2級	1式	
	冷却水装置	還流装置付き	1式	
	真空ポンプ			
	真空形成装置		1式	
	ポンプ操作装置等			
	多目的表示液晶ディスプレイ	警告モニタ・スロットル固定機能・積水残量表示 上昇圧力設定機能・CAFS操作機能	1式	
	吸水口	75mmボールコック（ストレーナー付） 1箇所：常設給水管へ接続 1箇所：75mmﾎﾞｰﾙｺｯｸﾞﾏｽ×65mm差込ｽﾏﾙｽﾞﾐﾃﾞｲｱ金具	2	
	放水口	前側・左右両側：65mmボールコック （ﾏﾙｽﾞﾐﾃﾞｲｱ-（65,50）ｽｲﾍﾞﾙ吐水口ﾐﾃﾞｲｱ金具）	2	
		後側・左右両側：65mmボールコック （ｽｲﾍﾞﾙ型65mm吐水口+50mmﾐﾃﾞｲｱ金具付）	2	
	中継口	65mmボールコック	2	
	不凍液注入装置		1式	
	ポンプ架装		1式	
	吸収収納室			
	吸水管	LF-RS エルボ、消火栓ﾐﾃﾞｲｱ金具等含む	1式	
	ロープ引揚式・吸収離脱器	YONE PR-75M	1	
	吸水管巻き取り装置	リール式、ロック装置付	1式	
水槽				
	水槽	強度・耐食性のあるFRP製又はPP製	1式	西和消防署：600L 天川分署：800L
	積水口	65mmボールコック （65mmﾎﾞｰﾙｺｯｸﾞﾏｽ×65mm差込ｽﾏﾙｽﾞﾐﾃﾞｲｱ積水口ﾐﾃﾞｲｱ金具）	2	
	水量計	アクリル管 左右	2	
CAFS装置				
	CAFS装置	泡原液（20L）	1式	
	コンプレッサー	ロータリースクリュー型	1式	
	混合装置		1式	
	CAFSオイル	純正品	1式	
	CAFSエレメント	純正品	1式	
ボディ				
	アルミ製縞板張り付け	ステップ、バンパー上部、屋根デッキ 塗装面の損傷が予想される部分	1式	
	アルミ製シャッター	左右各2枚、後部1枚 引き降ろし用ベルト付 キャビン内開放状態表示機能	1式	左右
	左右上部あおり艤装	左右	1式	
	展開式ステップ	左右ﾀｲﾍﾞﾙｽ・側面後部収納庫下部、3面反射テープ貼付、LED灯3面埋め込み	2式	
	天井部昇降用はしご	後部右、展開式はしご	1式	
	昇降用手摺	ステンレス製、必要箇所	1式	
	展開式昇降ステップ	右前方部	1	
	はしご昇降装置	とびろブラケット付属	1式	
	大型資機材収納箱	アルミ製 ゴム緩衝材敷き	1	
	分割式給水管固定収納枠	縦積み積載方式、固定ベルト付	1式	
	資器材固定用フック	天井前方部	4	
	車輪止めブラケット	右側前部（2個組）	1	
	牽引用フック	フロントバンパー下部、外れ止め付3t用	1	
ポンプ室				

	ホース収納棚	ナイロン製ベルト又はステンレスバー取付け（左右）	1	
	資機材収納棚	展開式扉（左右）	1	
	資機材等吊り下げ手摺	収納式又は脱着式、左右各1（\$7ツク5個付）	2	
	無線機送受信器取付け	枠付き、小型スピーカー新設	2	
	資機材収納室（左右後部・後部）			
	ホースカー	ホースカー（ホース8本以上）	1式	西和：手動 天川：電動
	ホースカー昇降装置	油圧式（非常時手動操作可）	1式	
	空気ボンベ収納庫	6.8又は4.7リットル用ボンベ5区画、ベルクロ式うち1区画消火器用	1式	
	資機材収納棚	アルミ製箱（すのこ又はゴム敷）又は固定ベルト付	1式	
	可搬式ポンプ収納		1	天川分署分のみ
	その他ボディ艗装			
	その他ボディ艗装		1式	
	電装品関係			
	拡声器付電子サイレンアンプ	大阪サイレン社製 TSK-D352（MC-D3Lマイク付き）	1式	
	10連スイッチボックス	大阪サイレン社製（自光変色型押しボタン）	1式	
	サイレン等作動スイッチ	モーターレバ（手動・自動）、アンプ内蔵音声用	1式	
	LED室内灯	天井部中央部（前席遮光措置）	1	
	LEDフレキシブルライト	助手席Aビラー、後席Bビラー左右ドア上	3	
	電装品関係ヒューズボックス		1式	
	LED散光式赤色灯	キャブハイルーフ内蔵 （モーターサイレン1基、サイレンスピーカー2基内蔵）	1式	
	前部赤色点滅灯	大阪サイレン製 LFA-200 クリア	2	
	側面赤色点滅灯	大阪サイレン製 LFA-200 クリア	4	
	後部赤色点滅灯及び後部照明灯	大阪サイレン製 LFIA-300	2	
	側面照明灯	MYSW（LED）又は同等品	2	
	投光器	佐藤工業製 SP-Q20（佐藤工業製ボール旋回、俯仰、照射自在）	1	
	路肩灯	LED（保護枠付き）左右リアフェンダー内側	2	
	サイドマーカールンプ	後部左右下部	2	
	LED庫内灯	バー式 ポンプ室、吸管収納室、各資機材収納室	1式	
	オイルパンヒーター用 入力コネクタ	AC100V、10mAド付 マグネット式（カバー付） オイルパンヒーター用スイッチ（ハイルイト付）	1	
	バッテリー全自動管理器	CTEK AC100V入力コネクタ（10mAド付、マグネット式）	1式	
	インバーター	600W以上	1	
	100Vコンセント（内外）	各2口以上	2式	
	バックアイカメラモニター	ルームミラー型、後部カメラ付属	1式	
	ドライブレコーダー	日本製 WindowsMediaPlayerで再生可能なもの	1式	
	ETC車載器	セットアップ含む	1式	
	カーナビゲーション	国内製品 7インチ テレビ視聴不可能仕様	1式	
	その他電装艗装	ドアスイッチ、警告灯、配線等	1式	
	塗装及び文字記入			
	朱色塗装	朱色ハイソリッドウレタン塗料（シャッター含む）	1式	
	シルバーメタリック塗装	アンダーコーティング	1式	
	補修用朱色塗料	約300ml 缶入り又はラッカースプレー	1	
	文字記入	仕様書記載	1式	
	取付・積載資機材			
	キャブ内取付資機材			
	空気呼吸器	IA7・ウォーター防災製 ライフラインA1-12 （拡声器・面体収納袋等付）	4	
		拡声器用急速充電器（CH-SD4）	4	
		A1-12用 ACT-BCON	4	
	空気ボンベ	エア・ウォーター防災製ライフラインA530CⅢAZ （ボンベカバー、ネジ山保護キャップ付）	4	
	万能斧	レスキューアックス DPX-2788	2	
	携行ライト	PELICAN 3415 防爆ライト	2	
		BLACK WOLF MAXライト2000 18650電池付	2	
		BLACK WOLF 18650電池・Li-2充電器	1式	
	携帯拡声器	TD-504Y （ストラップNZ-307+7MHzマイク付）	2	
	ボディ取付資機材			
	二連はしご	全伸張6.1m程度 日本消防検定協会における型式鑑定及び個別鑑定合格品 チタン又はステンレス製	1	

	とび口	グラスファイバー製 1.8m以上	2	
	分割式吸水管	WSソフト75 2.5m×4本	1式	
	消火栓開閉金具	緑十字キー（丸型用）	1	
	車輪止め	ゴム製	2	
ポンプ室取付資機材				
	媒介金具	65mm差込メス×50mm差込オス	4	
		65mm差込メス×65mm差込メス	1	
		65mm差込オス×65mm差込オス	1	
		50mm差込メス×50mm差込メス	1	
		50mm差込オス×50mm差込オス	1	
		50mm差込メス×40mm差込オス	4	
		40mm差込メス×50mm差込オス	2	
	分岐管	マルチコネクター・ホース・ホース WB-65MC (65/50mm)	1	
	放水器具	NV-50FTSLM セレクタブル付	1	
		クアドラフোগノズル	1	
		MXフォームジェット（FN-50QMX） クアドラ用	1	
	代用吸水管	両ゴム引き10m、差込み式φ65mm・メス金具65mm付	1	
資機材収納室（左側）取付資機材				
	吸管ちりよけかご	プラスチック製、スレーナー・65mm差込みメス金具付	2	
	吸管スパナ	黒塗り	2	
	吸管まくら木	ゴム製	2	
	低水位ストレーナー	流線型 差込型	1	
	地上式消火栓開閉金具	前沢式消火栓キー	1	
		消火栓開閉金具	2	
	小型動力ポンプ（C-1級）	トーハツ製 VE20AS 又は シバウラ防災製作所 FT310 又は同等品	1	天川分署分のみ
資機材収納室（右側、後部）取付資器材				
	スタンドパイプ	PS65F 又は同等品	1	西和：1000 天川：800
	金でこ	850mm	1	
	大ハンマー	ジャフコ製DS10	1	
	鉄線カッター	BC600F	1	
	剣先スコップ	トンボ 軽快ショベル 丸型	1	
	発動発電機	ホンダ製EU9i	1	
	コードリール	30m 防雨・防塵	1	
	燃料携行缶	ガソリン用10L	1	
	エンジンカッター	ハスクバーナ製 K535i（9インチ） BLi200X及びQC250付属 ハスクバーナ製グレード VARI-CUT FR-3 2枚付属	1	
	チェーンソー	ハスクバーナ製 120i BLi200X及びQC250付属	1	
	照明器具	ミルウォーキー 機能付きスタンドライト バッテリー2個、充電コード付き	1	
	ホースブリッジ	CB450 ゴム製（2個1対）	1	
	地下式消火栓開閉金具	キーハンドル	1	
ホースカー取付資機材				
	放水器具	NV-50FTSLM セレクタブル付	1	
		クアドラフোগノズル（NH-50QF）	1	
	分岐管	マルチコネクター・ホース・ホース（50/40mm）	1	
	媒介金具	50mm差込メス×40mm差込オス	1	
積載資機材				
	予備空気ポンプ	エア・ウォーター防災製タイプ4530CⅢZ （ポンベカバー、ネジ山保護キャップ付）	4	
	消防用ホース	65mm×20m 1.6MPa 奈良県広域仕様 名入れ	10	
		50mm×20m 1.6MPa 奈良県広域仕様 名入れ 横井・キラリトポジション	8	
		40mm×20m 1.6MPa 奈良県広域仕様 名入れ 横井・キラリトポジション	4	
	ホース搬送具	OH-1型（肩掛けベルト付）	2	
	ホースバッグ	RS-W-02	2	
	ホースバンテージ	マジックテープ式	5	
	ホース結束ベルト	BE-007	5	
	吸管ロープ	10mm×15m	2	
	消火栓媒介金具	75mmネジメス×65mm差込メス	1	
	冷却水ストレーナースパナ	ポンプ偽装に含む	1	
	防水シート	約3×3m、不燃性能	2	
	クラスA泡消火薬剤	マルチA	2	
	デジタルカメラ	OLYMPUS Tough TG-7 SDHC16GBSDカード含む	1	

省電力トランシーバー	ICOM IC-4110 充電器2個付属	5	
救命胴衣	mont bell リバーランナープロ	5	
自動車用ABC粉末消火器	消火薬剤6kg入	1	
赤色誘導合図灯	60cmバータイプ（点灯・点滅切換え式） 車両取り付け金具含む	2	
牽引用ワイヤー	口径10mm×5m	1	
三角コーン	TCCP-700R 収納式、上部取付LED含む	4	
矢印板	LED点滅、折りたたみ式 JLE-10	1	
燃料携行缶	ガソリン用5L 大自工業 DSB-5	1	
プライバシーシート	クイックプライバシーシートV4	2	
救急資機材セット	レスキュータフティカルバック・万能ばさみ	1	
スローロープ	モンベル コンパクトスローロープ20	1	
無線装置及び車載情報端末装置			
車載無線装置移設	現存車両より移設	1式	
外部スピーカー切替スイッチ	キャビン内	1	
外部スピーカー切断スイッチ	ポンプ室内、左右各1	2	
車載情報端末装置	現存車両より移設	1式	
ハンドセット		1	
車内スピーカー	第一電波工業製 P810	2	

- E1 ※本別表において、メーカー、型式の記載がある資機材に関しては同等品を指定することができる。（空気呼吸器及び車内スピーカーを除く。）なお、車両を製作する過程で、発注者と協議を行い、承認を得たうえで変更を行うことは可能とする。
※発注者との協議で承認を得られなかった製品の納品は認めない。このため、当該同等品が本契約案件の契約締結において必要不可欠となるような物品である場合は、入札前に同等品承認申請を行い、事前に承認を得ること。
- E2 装備品、付属品等の取り付け工賃は全て受注者の負担とする。